

2012年度事業報告書

2012年4月1日～2013年3月31日

法人の名称 特定非営利活動法人 アクションおっぱま

1 事業活動方針

当年度は、市民、大学、企業、行政ならびに追浜観光協会、(協)追浜商盛会等との連携による地域まちづくりの課題に、具体的に取り組むとともに、人材育成のためのインターンシップを実施する。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

1) 誰でもが地域に住み続けるための条件整備に関する事業

ア 青少年の地域での居場所事業

- ・内 容 学校や職場に行っていない青少年に、地域の中での居場所を提供するとともに、自立に向けて就労支援を行う。具体的には、こみゆに亭カフェや各商店の協力により簡単な仕事をしながら、徐々に社会性を身につけるプログラムの検討など、先進事例を参考にしながら追浜での実施について検討を行う。

→本年度は、情報収集を行った。

- ・日 時 通年
- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員、市民約10人
- ・対 象 者 支援を必要とする地域の青少年
- ・支出額 0円

イ マンション入居者のコミュニティ形成支援と地域連携支援事業

- ・内 容 追浜東町に建設された「ルネ追浜」入居者のコミュニティ形成がスムーズにできるよう、また地域と連携して一緒にまちづくりを進められるよう、NPO法人として支援をする。具体的には、マンションコンシェルジュとして週3日マンション内に常駐し、上記に関する居住者の相談を受けたり、情報提供を行う。また、毎月の小イベント、2カ月に1回のイベントを実施し、居住者間の交流を進めたり、マンション内での生活を楽しめるようにする。

なお、追浜東町では、「パークハウス追浜」の建設も進んでおり、こちらの地域連携についても相談を受けている。

→本年度は週3回のマンションコンシェルジュの常駐、6回大イベント(オープニングイベントを含む)と毎月の小イベント(大イベントのない月は2回)、月1回のニュースレター「ルネ追浜スタイル」の発行を行い、居住者同士の交流を図るとともに、地域情報の提供を行った。子育て世代を中心に具体的な交流の輪が出来はじめ、挨拶を交わす親しみやすさは生まれているが、入居が年度内に分散したため、居住者間での自主的な活動の立ち上げを誘発するにはいたらず、管理組合からの要請で次年度もコミュニティ醸成事業を継続することとなった。

- ・場 所 こみゆに亭カフェ、ルネ追浜、追浜地域
- ・従事者人員 当法人の役員、会員等 約 10 名
- ・対 象 者 ルネ追浜住民
- ・支 出 額 5,674,263 円（一般管理費ならびに納税分を含む）

2) 地域資源の保存・活用に関する事業

ア 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー事業

- ・内 容 第三海堡遺構の見学については、個人、団体の予約を受け付けるとともに、当面毎月第一日曜日を予約無しでの一般見学日とし、ガイドツアーを実施する。

→本年度の実績は以下の通りである。

- ・日 時 (1) 一般見学日（毎月第一日曜日）の見学者
4月 2 人、5月 15 人、6月 15 人、7月 15 人、8月 11 人、9月 24 人、
10月 35 人 11月 52 人、12月 13 人、1月 46 人、2月 43 人、3月 29 人
計 300 人

(2) 団体、イベントでの見学者

5月 13 日	JR東日本労組	42 名
9月 22 日	地盤工学会講演会	250 名
10月 18 日	全国市町村史跡保存協議会	70 名
10月 20 日	Y・フェスタ追浜	約 1000 名
10月 27 日	土木技術者女性の会	7 名
12月 4 日	横須賀市国際交流協会	48 名

計 約 1420 名

- ・場 所 夏島都市緑地内第三海堡展示場
- ・従事者人員 当法人役員、会員、おっぱまはっけん倶楽部会員等 約 20 人
- ・対 象 者 追浜内外の市民
- ・支 出 額 0 円

イ 追浜の歴史遺産をいかすフィールドミュージアム構想検討事業

- ・内 容 追浜の歴史遺産をめぐり、地域の歴史と魅力を参加者に伝え、特に地元の参加者には、まちづくりに活動へ参加意欲を高めてもらうためにハード、ソフトを含めどのような対応策が必要かを検討する。

→本年度は以下の事業を行った。

- ・地域資源を活かすことについての先進事例の紹介と意見交換

岡田昌彰近畿大准教授による講演会（9月 22 日）

- ・地域資源を分かりやすく表示する案内板の試作

鄭一止神奈川大助手による案内板のモデル作成

- ・拠点ミュージアム（横須賀市自然・人文博物館）との連携により

追浜行政センター内郷土資料室所蔵資料の目録を作成した（100 部）

- ・日 時 4 月以降随時
- ・場 所 第三海堡遺構、追浜行政センター等
- ・従事者人員 当法人役員、会員、おっぱまはっけん倶楽部会員等 約 20 人
- ・対 象 者 追浜地域内外の住民
- ・支 出 額 420,000 円

（花王コミュニティミュージアム・プログラム 2011 助成）

* 助成金の事業計画で、地元小学生との第三海堡写真展は開催できず、8 万円分を花王に返金することになるも、2012 年度の研究助成が決まってい

たので、8万円を次年度分(35万円)に充当することとなった。

ウ 貝山地下壕の紹介事業

- ・内 容 貝山地下壕は、2011年3月11日の東日本大震災以降、安全上の問題から横須賀市が立ち入りを許可していない。しかしこの歴史的、工学的重要性から、地盤工学会土木史跡委員会に協力し、一般向けの中間報告会の実施に関わるなど紹介に関する事業を行う。
→本年度は地盤工学会による専門調査に協力し、2012年9月22日に中間報告会を開催した(追浜コミュニティセンター北館3階ホール)。当法人も共催としてこれに関わった。当日は市内外より約250名の聴衆が集まり、関心の高さを再認識した
- ・場 所 追浜コミュニティセンター
- ・従事者人員 当法人役員、会員、おっぱま発見倶楽部会員等 約20人
- ・対象者 追浜地域内外の市民
- ・支出額 0円

エ 活動時に着用するユニフォーム等の作成

- ・内 容 昨年度作成したスタッフジャンパーは活動に有益であったが、夏期には着用が困難なので、今年はTシャツをそろえるほか、腕章や旗などその他活動に必要なものも揃えたい。
→本年度は、横須賀市非営利活動法人補助金を得て、ポロシャツにネーム入りのユニフォーム20人分を揃え、春からのガイドに活用している
- ・場 所 第三海堡遺構等
- ・従事者人員 当法人の役員、会員、おっぱまはっけん倶楽部会員等 約20名
- ・対象者 当法人の役員、会員、おっぱまはっけん倶楽部会員等
- ・支出額 56,700円

オ 「貝山地下壕見学のしおり」「東京湾第三海堡物語」の販売並びに増刷事業

- ・内 容 「貝山地下壕見学のしおり」「東京湾第三海堡物語」は、見学時のみならず、こみゆに亭でも売れている。2011年3月11日の東日本大震災以降貝山地下壕への立入りは出来ないで、これの冊子の販売は増えていないが、第三海堡については、年度内に増刷の必要が出てくると思われる。
→本年度は『東京湾第三海堡物語』を1000部増刷した。昨年度作成した『絵地図 おっぱま再発見!』1000部は好評で配布を完了したが、一部誤りがあったことと、1年の間に変化があったことで増補改訂版1000部を印刷した。今回は広告費が取れなかったことで、1部100円の有償頒布となった。
- ・場 所 こみゆに亭カフェ内事務所、追浜行政センター等
- ・従事者人員 当法人役員、おっぱまはっけん倶楽部会員等 約20名
- ・対象者 追浜地域住民、他地域の人たち
- ・支出額 373,390円

カ 我が街・追浜の湘南妙義「鷹取山」の景観保存まちづくり活用

- ・内 容 幕末には、徳川幕府直轄の天領として、一般人の入山が禁止され、鷹取山は幕府御料林が鬱蒼としていた。明治に入り廃藩置県から、官有地が払い下げられ追浜の経済を支えた。石切り場として石材採取、石を運ぶ海運も発展した。今は、石切り場の山肌が露出し、歴史を刻む奇岩の湘南妙義・鷹取山が存在する。山は、健康志向の場として安

心・安全なミニ登山や観光のため当 NPO 法人が中心となり、山を愛する湘南鷹取の町内会、横須賀山岳協会、勤労者山岳協会等が協働して景観保存の整備の展開している。具体的には、雑草処理や青少年、ハイカー等に登山指導を行い人を呼び込み、郷土愛の醸成を図っている。

→本年度は、清掃および整備活動を行った

- ・日 時 2012年9月2日
- ・場 所 鷹取山
- ・従事者人員 山の会、湘南鷹取町内会等 約30名
- ・対象者 追浜地域住民、他地域からの来外者
- ・支出額 0円

3) まちづくりの人材育成に関する事業

ア インターシップの受け入れ事業

- ・内 容 NPO インターシップに関する講座、見学ツアー等要請があれば協力し、関東学院大学その他大学生のインターシップの受け入れを図る。
→本年度はインターシップの要請等はなかったが、卒論、修論でコミュニティカフェ、あるいはNPO 法人の活動を取り上げたいという学生は何人かあり、それぞれ対応した。大学としては、慶応大大学院、横浜市大、法政大、芝浦工大が各1名であった。
- ・日 時 5月以降随時
- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員約5人
- ・対象者 学生
- ・支出額 0円

4) 地域の活性化に関するイベント事業

① おっぱまワイン寄席の開催

- ・内 容 柳家喬太郎による落語会の開催
- ・日 時 11月30日
当日は喬太郎師匠の誕生日ということで、バースデーケーキ入刀のサプライズイベントも行った。
- ・場 所 エルシャンテ追浜5階ホール
- ・従事者人員 当法人役員、会員約10人
- ・対象者 追浜住民他117名
- ・支出額 257,829円

② おっぱまクリスマス JAZZ コンサートの開催

- ・内 容 工藤直子氏（ボーカル）ほかによる JAZZ コンサートの開催。
- ・日 時 12月24日
- ・場 所 エルシャンテ追浜5階ホール
- ・従事者人員 当法人役員、会員約10人
- ・対象者 追浜住民他54名
- ・支出額 215,300円

③ こみゆに亭カフェを活用した事業

ア 私のコミセ

- ・内 容 月1回の出店者の会議（こみせオーナー会議）と手づくり講座等の企画支

援、ワンコイン講座

4月21日(水)25日(金)	カーネーションを使ったかわいい犬のアレンジ	近藤真理子	6
5月23日(水)	フラワーアレンジメント～プティデザイン	近藤真理子	4
6月28日(木)	かわいいモコモコリース	近藤真理子	4
7月25日(水)	プリケーキ	近藤真理子	4
8月31日(木)	ギフトアレンジ 《らぶくま》	近藤真理子	5
9月13日(水)	飾るだけで幸運を呼び込むフラワー風水	近藤真理子	6
10月25日(金)31日(水)	生花で秋色をアレンジメント	近藤真理子	8
11月28日(水)29日(木)30日(金)	クリスマスリース	近藤真理子	10
12月10日(月)	クリスマスカードとタグを作ろう	内田裕子	4
12月12日(水)13日(木)14日(金)	迎春アレンジ(慶びの新春)	近藤真理子	10
2月15日(金)	豆雛と色紙雛を作ろう	等々力淑子	4
3月8日(金)9日(土)	アートフラワー	等々力淑子、廣島壽子	4

計 69名

- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 2、3名
- ・支出額 0円

イ こみゆに亭カフェを活用したイベントの実施

・内 容	年間10回程度の各種イベントを企画	(人)
4月21日(土)	ワインを飲んでカントリーミュージックを楽しもう	26
6月30日(土)	太田誠 無料弾き語りライブ	16
9月29日(土)	古田龍一 ドラコンカフェコンサート2012	21
10月27日(土)	ザ・サタディーズ コンサート	25
11月24日(土)	ワインを飲んでカントリーミュージックを楽しもう part2	25
12月21日(金)	ヘルマンハーブのミニコンサート	20
3月30日(土)	ヘルマンパープのミニコンサート Part 2	25

計 158人

- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 3名
- ・支出額 0円

以下の事業は、NPO 法人アクションおっぱまが(協)追浜商盛会と協力して行った。

③ 酒類の醸造及び販売事業

ア 横須賀おっぱまワインの醸造・販売

ワイナリーでの醸造と各種イベントを中心とする販売活動を行った。

5月8日	第13回サイエンスカフェ会場使用	9本
12日	海洋研究会 h付きこうでのワイン販売	52
6月8日	NPO アクションおっぱま総会(懇親会)	11
7月1日	日産フェアでのワイン販売	11
15日	祭礼でのワイン販売	50
8月26日	神奈川水の採点でのワイン販売	9
11月10～11日	横須賀産業まつりでワイン販売	108
30日	おっぱまワイン寄席でワイン販売	24
12月1日	ナイトバザールでワイン販売	66
24日	クリスマスジャズコンサートでワイン販売	24

④ 地域の特産品の製造及び販売事業

ア 地域連携農産物の販売
イベントの実施等で販売に協力した。

5) 広報等に関する事業

5) 広報等に関する事業

- ① NPO 法人アクションおっばまの会報の編集・発行
12月に第5号を発行したが、年2回の発行予定が昨年引き続き年1回と
なってしまった。
- ② NPO 法人の事業に関連する先進事例の視察と視察の受け入れ
12月6日に世田谷区まちづくり課の職員研修を受け入れた（9名）